

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
51	東京純心大学	看護管理学	上谷 いつ子 看護学部 教授	1	前期		8		東京純心大学	5

【到達目標】

1. 看護管理の目的とプロセスについて説明できる。
2. 看護サービスを提供するための組織内のしくみについて説明できる。
3. 看護チーム及び他職種との連携・協働における看護職の役割について説明できる。
4. キャリア開発の視点から個人と組織の関係について説明できる。
5. 看護の質保証における評価の視点・方法を説明できる。
6. 看護の経済的側面への関心をもつ必要性について説明できる。
7. 組織における看護専門職および看護管理者の役割と責務について考察できる。

【授業の概要】

国民の保健医療福祉に対するニーズの変化に伴い、看護サービスへの要求は多様化・複雑化しており、看護職への期待と役割は拡大している。この科目では、看護管理の概念と原則を学び、看護の対象となる人々に安全で良質な看護サービスを効率的・効果的に提供するために、看護職者個人および看護組織が担う役割は何かについて理解する。マネジメントの実際には、管理の対象として主に「ひと・もの・かね・情報・知識」を取り上げる。具体的には、組織運営、看護サービス提供システム（看護提供方式）、業務管理、人的資源管理（労務管理・人材育成含む）、施設設備・物品管理、情報管理、予算管理等について学修する。さらに、看護サービスの質保証のための質評価・改善・変革等について理解を深める。

【授業内容】

1. コースガイダンス
看護管理の定義とプロセス
 - (1). 看護管理の定義と基本的要素
 - (2). 看護におけるマネジメント
 - ・看護におけるマネジメントの考え方の変遷
 - ・マネジメントプロセスと PDCA サイクル
2. 看護組織とマネジメント ～組織として看護サービスをマネジメントする
 - (1). 看護サービスの定義と特徴
 - (2). 組織目的達成のためのマネジメント
 - ・組織理念の形成と浸透
 - ・現状分析による戦略的目標
 - (3). 看護組織の構成と職務
3. 看護ケアのマネジメント
 - (1). 看護ケアのマネジメントにおける看護職の機能
 - (2). 多職種連携・協働のマネジメント
 - (3). 看護業務のマネジメント
 - ・看護ケアの標準化
 - ・日常業務の判断基準と多重課題への対応
4. 看護サービスのマネジメント ①
 - (1). 看護サービスの提供システム ～看護方式
 - (2). 人材のマネジメント（人的資源管理）
 - ・人材の採用と育成・活用
 - ・労働環境の調整：看護師の働き方のマネジメント
5. 看護サービスのマネジメント ②
 - (1). 施設・設備管理、物品管理、情報管理、予算管理（コスト管理）、リスクマネジメント
 - (2). 医療・看護サービスの評価と改善 ～看護の質を評価するための視点とは？
6. マネジメントに必要な知識と技術
 - (1). リーダーの役割と求められる資質・能力
 - (2). リーダーシップとマネジメント
ワーク：「ついていきたいリーダーとついていきたくないリーダー」
7. 看護を取り巻く法律と諸制度
 - (1). 法律と看護管理 ～看護職がかかわる法制度
 - (2). 看護の経済的側面
 - 1) 医療制度と診療報酬のしくみ
 - 2) 看護と診療報酬
 - (3). 看護行政と政策
8. 看護管理の実際 ～看護管理者、チームリーダーの体験学習に向けて～
 - (1). 看護管理職に求められるスキル
 - (2). 事例から学ぶ看護管理
 - (3). 看護師の業務調整の実際
ワーク：多重課題～マルチタスクを乗り越えるために
まとめ

【成績評価方法】

筆記試験（70%）・レポート（20%）・ワークブック（10%）により、総合的に評価する。
 目標1～6：目標に含まれる要素、キーワードについての知識の習得状況を筆記試験で評価する。
 目標7：レポートで評価（ルーブリック）する。
 目標1～7：授業前・後の課題内容及び提出状況、ワークブックによる課題取組状況を評価する。

【筆記試験】：出題範囲については、授業時に示す。

【レポート評価基準（ルーブリック評価）】

・評価項目：①課題に沿ったタイトルの設定、②内容の一貫性・論理性・わかりやすい表現、③設定した問題の背景の説明、④文献の引用等による考察の深まり、⑤文章の体裁・適切な表現（段落、句読点、主部と述部、文体、誤字・脱字、指定様式等）など、課題の内容によって評価項目を設定し評価

する。

- ・提出期日の厳守。提出遅延時は減点対象とする。
- ・剽窃行為は禁止。評価対象外とする。

【教科書】

上泉和子：系統看護学講座統合分野 看護の統合と実践①看護管理，医学書院，最新版。

【参考書、教材等】

村島さい子他編：ナーシンググラフィカ看護管理 第3版，メディカ出版，2017。

日本看護協会編：看護に活かす基準・指針・ガイドライン集 2020，日本看護協会出版会，

手島恵他編集：看護管理学—自律し協働する専門職の看護マネジメントスキル，南江堂，2015。

岩崎 夏海著：もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら，新潮文庫。

ピーター・F・ドラッカー著：マネジメント[エッセンシャル版] - 基本と原則，ダイヤモンド社，2001。

勝田裕美子：組織で生きる， 管理と倫理のはざままで，医学書院。

近藤隆雄：サービスマネジメント入門—ものづくりから価値づくりの視点へ，生産性出版。

手島恵：主体性を高めチームを活性化する！ 看護のためのポジティブ・マネジメント 第2版，医学書院，2018。

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。